

良改の路道

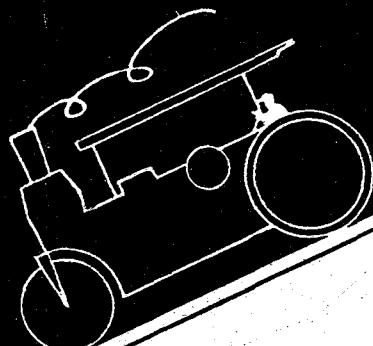
載 轉 禁



第十二卷 第十號

行發會良改路道

アスファルト舗道界の明星

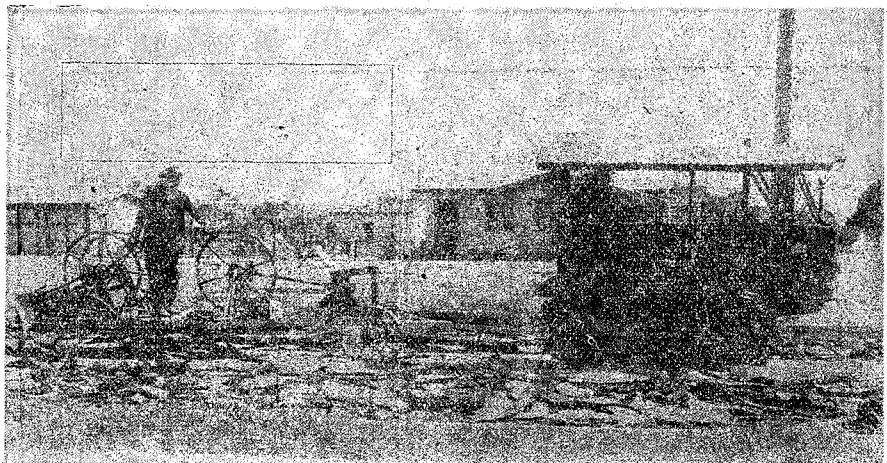


アスファルト其他各種道路及一般工事請負
特許ワーナイトビチュリシック東洋一手施工
特許簡易舗装 デップファルト 一手施工
各種石油製品・國産アスファルト 製造販賣

日本石油株式會社道路部

營業所

東京・丸ノ内 三・四
大阪・西区江戸堀南通三丁目
下関・岬ノ町 七九
小樽・花園町東 四丁目
台北・本町一丁目四三 虎爺ビル内
京城・南大門通ハチ代ビル内



CATERPILLAR

破壊と建設

路面破壊實況
アスファルト

建設ハ難ク破壊ハ易シト言ハレマスガ道路ハ鋪裝シタモノハ却テ此ノ逆ニナル相デス。

破壊ノ爲ニ多額ノ費用ヲ投ズルノハ合理化ノ潮流ニ逆行スル譯デアリマス。「キヤタピラー」トラクターコソ此目的ニ適當ナ機械デ其強力ナ牽引力ハ何モノニモ比スペクモアリマセヌ。

「キヤタピラー」トラクターハ「キヤタピラー」道路機械ト共ニスピード禮讚ノ今日ニ合致スル道路建設ニモ併用サレマス。

申ル向墾
込旨ハ錄
下御本誌入
サ記誌入
イ入ニ用
御ヨノ

東洋一手販賣店
三井物産株式會社機械部
東京・日本橋・本町

道路の改良 第十一卷 第十號 目次 昭和五年十月一日發行

卷頭言

(二)

口繪

竣功せる大利根橋の大觀

論說

緊縮政策と失業救濟とは兩立するか

貴族院議員 長岡隆一郎(三)

自動車道路開設の機運

道路改良會評議員 藤原俊雄(一〇)

研究

徳川時代の運賃

京都帝國大學經濟學部 和田篤憲(三)

大阪市交通機關の獨占市營

大阪市主事 岡崎早太郎(四)

都市交通問題

警視廳技師 平山泰治(五)

技術

混凝土の表面仕上に就て

内務技師 宮本武之輔(充)

ポルトランドセメントの規格並に

内務技師 三木榮三(合)

試験法に就ての考察

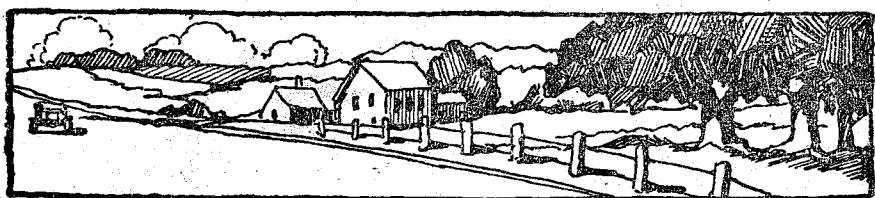
工學士 小澤久太郎(七)

中路結構橋垂主材の設計に就て

道路改良會技術部(六)

設計資料

道路改良會技術部(六)



海外道路時事

獨逸に於ける旅客輸送機関としての自動車と鐵道との經濟的比較
瑞西の混凝土鋪装　伊太利自動車道一覽表

内務省土木試驗所長物部長穂(一五)

文苑

雜詠　丹羽好日庵(二三)

時論

道路の改良による失業救濟並地方産業の開發　貴族院議員山崎龜吉(二三)

紹介

神明國道改築工事斷感(三)　楠生(二八)

漫録

橋梁製作所巡り(一)　池本泰兒(三)

北海道の道路管見(二)

枝川生(三四)

地方法通信

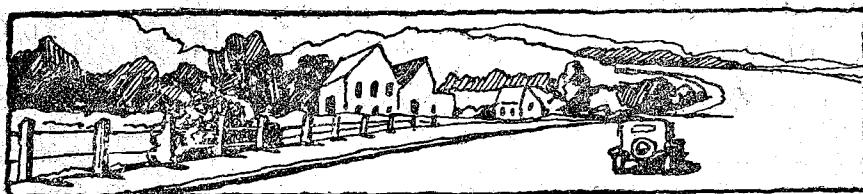
(二五)

北海道方面　池本泰兒(三)
東北方面　枝川生(三四)

北陸方面　關西中國方面　九州方面

雜報

宮城県道路保護協會成る
大利根橋開通す　藤井技師の渡米　囑託西澤君の榮轉
敍任辭令　(一四)
編輯室の内外　(一五)



アスファルト

の

御用なら

先づ

淺野物産へ

道路鋪装工事請負
防水工事請負
ルーフィング類販賣
アスファルト販賣

舶來 ユニオニアスファルト
國產 小倉 アスファルト 總代理店

淺野物産株式會社アスファルト部

混凝工目地材

國產アサノエラスタイル

舶來カレーラスタイル

東京市丸ノ内一丁目六ノ一海上ビル六階

電話丸ノ内二五八〇一一二五八九



況狀の船渡たつたり語昔は今

大利根橋の工竣せる観



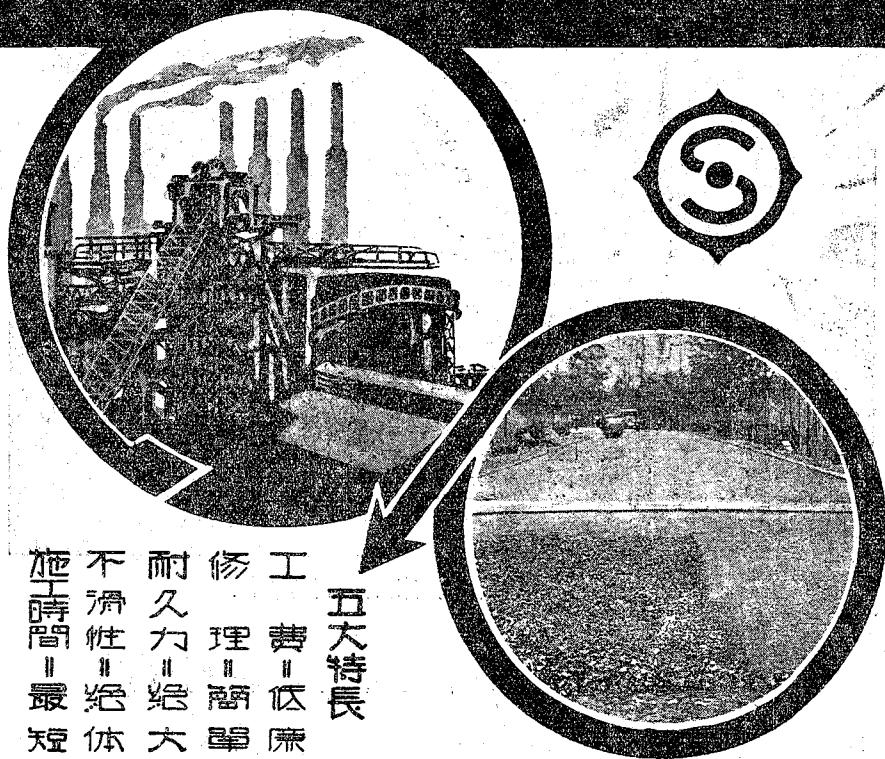
〔説明〕位置
有效幅七米五
主橋臺二基（口）杭打基礎
（アーチ型）六三米八連（ホ）セメント
（ハセメント）（大樽）三一、七五六
延員七二、九〇〇人
起工昭和三年九月三日
竣工同五年九月二十一日

于茨城縣北相馬郡我孫子町入會
于茨城縣東葛飾郡我孫子町
百四十三萬圓
取付道（手括子側）一
（ハ）井筒（ハ）井筒
五三六五米
（不）杭打基礎
鐵筋混擬土橋脚（二）三基
（不）鋼鉄桁（二）〇米二四連
（不）鋼材（二）六四一、〇〇連（口）鐵筋桁
橋梁長九百八十四米
河川名利根川
路線名國道六號線
總工費百四十三萬圓
下部工料間組
橋面鋪裝材日本鐵業會社納入



同正橋面

道路鋪裝界の一大革命



施工耐久性
修理容易
費用低廉
五大特長
施工時間最短
不滑性絶体
施工耐久力大

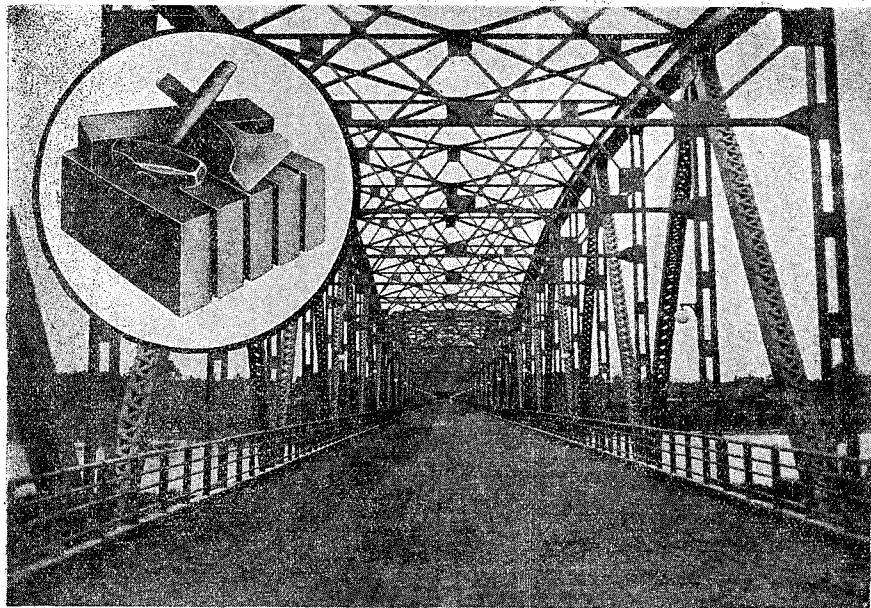
製鐵所製特種ターバラス全國一等販賣
製鐵所ターマック道路鋪裝施工一等請負

會社 杉山商店道路部 大阪市西区立衛堀南通二丁目

電話新町九〇一・九〇二・九〇三・九〇四

- | | | |
|----|--------------|----------|
| 東京 | 神田区柳原河岸一八号地 | 電話浪五三〇九番 |
| 札幌 | 札幌市南四條東二丁目 | 電話三〇四六番 |
| 京城 | 京城府南大門通五丁目二五 | 電話本局八八二番 |
| 台北 | 台北市北門町一三番地 | 電話三四一五番 |

日立アスファルトブロック



大利根橋橋床鋪裝實況

斷然アスファルト道路界の絕對權威

各地の實績を見られたし

日本舗業株式會社

營業部

東京市麹町區丸ノ内二ノ一二
電話 丸ノ内(23)一二四一一番

大阪出張所

大阪市北區中之島二丁目
電話 本局二六〇番二六四番

説明書贈呈

最新最優
ビチュマルス

(液体アスファルト)

道

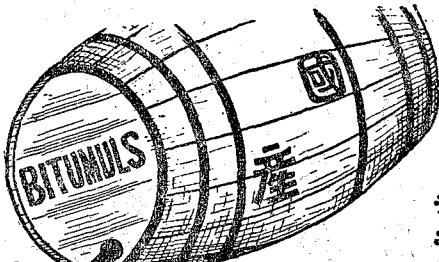
路

橋倉庫
プラットホーム

鋪装用

校庭

テニスコート



ビチュマルス工業株式會社

大阪市北區堂島濱通一丁目一番地 堂島ビル六階

電話 北 5890(長)6330

日本液体アスファルト工業株式會社關西總代理店

會合

社資

間

組

本

店

本

店

東京市赤坂區青山北町三ノ一七

電話青山二〇六〇六四番
六九〇八番

本店機械部

東京府下大崎町下大崎四三二六

電話高輪一二七九番
一八五八番

下關支店

下關市新町一ノ一二五七

電話下關三八五八番
一八八八番

朝鮮支店

京城府龍山漢江通一

電話龍山一四四八番
一七八八番

大阪出張所

大阪市北區伊勢町九

電話北局二八〇〇番
電話本局一六六九番

名古屋出張所

名古屋市中區仲ノ町三丁目二五

本店建築部

東京市麹町區丸ノ内二丁目丸ビル八階

電話丸ノ内四七三二番
電話九〇内四七三二番

肅啓。天高く馬肥ゆるの候御障も御座不爲在候哉謹而御伺申上候

ビチュマルス鋪裝十萬坪

降而豚兒益々頑健財界不況の真最中に日夜努力奮闘罷在候に付憚り乍ら御放神被下度候豫而御高庇を蒙り居り候ビチュマルス鋪裝愈々専問家各位の信用を博し近來異状なる發展を招來し關東地方丈にても明細表の如く將に十萬坪に垂とする程廣く施工致し至る所好評にて我國道路鋪裝界に聊か貢獻罷在候に付乍他事御休神被成下度候

先は御近情御伺旁々御報告まで如斯御座候

昭和五年仲秋

敬具

東京市丸ノ内仲通五號館(電話丸ノ内四八二九番)
日本ビチュマルス鋪裝工業株式會社

專務取締役
馬 渡 操

東京市	二五、九一三坪	茨城縣	二、二三六坪
神奈川縣	一二、四三六坪	群馬縣	二、〇八三坪
横濱市	一一、九八七坪	海軍省	一、八五八坪
北海道	八、〇二五坪	愛知縣	一、八五〇坪
東京府	七、二一三坪	新潟市	一、三二八坪
千葉縣	六、二〇五坪	農林省	一、〇三二坪
靜岡縣	五、八五一坪	富山縣	七〇〇坪
鐵道省	三、八七五坪	青森縣	三〇〇坪
埼玉縣	三、三六八坪	山梨縣	三三〇坪
其 他	一、五五〇坪		

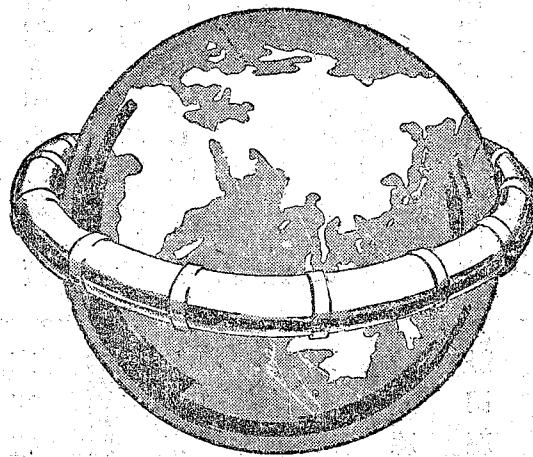
ヒュームパネル

専用

温泉送湯管原油管
水力電気導水管
門柱及機脚
其他省略

専用

下水道内壓管
送電線埋設管
排水溝蓋用管



日本ヒューム管株式会社

東京市京橋區銀座六丁目(銀橋際)

電話銀座 5426・5427・5428番

支店 大阪市西區土佐堀通二丁目 電話土佐堀 1534-1793

出張所	門司市白木崎後野スレート會社内	電話.....1228番1931
	名古屋市中區南鍛冶屋町三後野スレート會社内	電話中.....1097
	札幌市北三條東四丁目一後野スレート會社内	電話.....598
	朝鮮京城府漢江道一三後野スレート會社内	電話龍山.....1226

工場	{ 横濱市鶴見區潮田町二八八八 大坂市西成區津守町三九八	電話鶴見.....209 電話櫻川.....4460
----	---------------------------------	-------------------------------

土木工事とソリデチットの御用は

日本ソリデチツト株式會社へ

本社 東京市京橋區疊町十番地片倉ビル内
土木部、販賣部、電話京橋 3.160—3.169

出張所 大阪市東區北濱二ノ九〇片倉ビル内
工事部、營業部 電話本局 3.046—3.048



工事科目

事事事事事事事事事
工工工工工工工工工
木設道梁堤防裝水ル木
土敷水橋堰海鋪防タ土
道道下路路港路下ル般
鐵軌上道水築道地モ一

施工懇切

技術顧問
博士學工
牧彥七

簡易鋪裝



エマルレシア

用途 鋼裝工事

道路、校庭、床面。
プラットフォーム。

防水防腐工事

貯水池、屋上、塗料、
地下室、トンネル。

特長

純国産。
耐候性最優モ
經濟的最優モ
施工簡易

EMULVIA



東京瀝林工業所

東京市京橋區西銀座三丁目一番地 碓々館

電話京橋(56)一三二五番

製造工場

横濱市鶴見區菅澤町一九五番地

工事部

大倉土木株式會社

東京市京橋區銀座二丁目

電話京橋(56)自二一三〇番
至二一四九番

説明書贈呈

十
月
一
日

道
路
の
改
良

昭
和
五
年

卷二十
第
二十
號

卷頭

天下観聽の的となつた海軍々縮條約も漸く畢竟が着いた、之に依つて軍備を縮小することを得、國民の負擔を輕減するに至れば條約締結の目的も貫徹された譯併し國防の缺陷に備ふる補充計畫の爲に多額の經費を要するものとすれば條約の效果は零と爲る、故に條約の齎した效果は政府の此後の措置に依つて判断せねばならぬ。

國民大衆は軍縮に依る剩餘財源を負擔の輕減に充てと要求してゐる、固より負擔を輕減して國民生活の容易を圖ることに於て何人も異論のあるべき筈はない併しながら負擔を輕減するの方途は、必ずしも形式的消極的な遣り方ばかりではない、實質的積極的に負擔輕減の實を擧ぐれば足るのである、換言すれば營業収益稅一圓の低減よりは一圓の納稅を容易ならしむるに在る、蓋し民生進展の爲に國家自ら施設經營せなければならぬ國務は財源難の爲に山積してゐる、會生した剩餘財源を以て是等澁滞せる國家の責務を實行し、夫れに依つて此深刻な不景氣を挽回し納稅を容易ならしむることが、汎國民の爲に負擔を輕減することゝ爲る。

近時地方の府縣町村長會が、貧窮せる現狀打開の爲に政府が土木事業を起興して困憊せる地方農村の救濟に力むべきことを議決してゐるのも亦吾人の主張を如實に物語るものである、夙聞する所に依れば政府も亦之に鑑みたものか、應急救濟の爲に土木事業を起して國民生活の安定を圖ると傳へらる、非募債主義の改定を躊躇する現政府としては、此餘財源を利用するに非ざれば責務に屬する國家事業を遂行する餘裕がない筈、一部特權者の言に従つて形式的負擔の輕減を圖つたならば、死力を盡して通過せしめた折角の條約も遂に其の效果を收め得ないであらう、吾人は現政府が實質的の負擔輕減策を探らむことを切言する。

